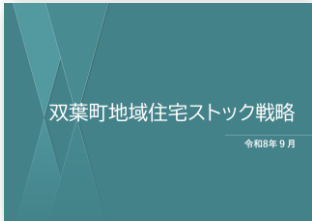


【概要版】双葉町地域住宅ストック戦略について

- 居住人口の拡大に向け、将来必要となる住宅について、供給する戸数・エリア・時期、官民の役割分担、住宅整備の考え方など、今後の住宅政策の基本的な方向性を整理するもの。
- 本戦略を公的住宅の計画的な整備に活用するとともに、民間事業者とも住宅需要の見通しやまちづくりの方向性を共有し、対話・連携を通じて民間住宅の供給を後押しする。



戦略のポイント

1 官民で約980戸の住宅ストックを形成する



2 「暮らしの拠点」に住宅を集め、段階的に住宅ストックを供給

- 駅東・駅西地区を「暮らしの拠点」と位置づけ、住宅ストックを重点的に形成
- 将来の約980戸を一度に整備するのではなく、住宅需要や各エリアのまちづくりの進捗を見ながら、必要な住宅を戦略に基づいて順次整備していく

3 将来にわたり「長く安心して住める住宅」の水準を設定

- 新たに整備する住宅について、「地震に強い」「長く使える」「快適・省エネ」の観点から、町として目標とする住宅性能を設定

今後の進め方

公的
住宅

- 新山エリアや駅西地区等において、住宅需要や各地区の整備状況を踏まえ、福島再生賃貸住宅等の整備を検討・具体化する

民間
住宅

- 民間事業者等との意見交換や住宅需要・土地活用・支援制度等に関する情報共有を進め、民間事業者による住宅供給の検討・事業化を後押しする